

注意！セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモ

「セアカゴケグモ」、「ハイイロゴケグモ」は、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき、特定外来生物に指定され、飼育などは禁止されています。

現在、熊本市をはじめ、九州では福岡県、宮崎県、鹿児島県などの公園や側溝等で確認されており、県内他地域への侵入も危惧されますので、注意してください。

セアカゴケグモ（メス）



腹部は大きな球状

背面、腹部に赤色の斑紋



○生態・特徴

和名：セアカゴケグモ

科名：ヒメグモ科 (Theridiidae)

学名： *Latrodectus hasseltii*

原産地：オーストラリア

特徴：成熟したメスの体長は、約0.7～1.0cmで腹部は大きな球状。
毒を持っているのはメスだけです。

※左写真の個体は未成熟であり、成熟すると白い斑紋は消えます。

ハイイロゴケグモ（メス）



腹部は大きな球状

腹部に赤色の斑紋



○生態・特徴

和名：ハイイロゴケグモ

科名：ヒメグモ科 (Theridiidae)

学名： *Latrodectus geometricus*

原産地：亜熱帯地方

特徴：成熟したメスの体長は、約0.7～1.0cmで腹部は大きな球状。
毒を持っているのはメスだけです。

写真提供：環境省

○ ゴケグモが生息する場所

- ◆ 日当たりの良い暖かい場所
- ◆ 地面や人工物のあらゆる窪みや穴、裏側、隙間
(例) プランターの底、室外機の裏、側溝蓋の裏、放置自転車など
- ◆ 屋外に置かれた傘や衣類、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります。
- ◆ ゴケグモに咬まれないように、屋外で作業する場合は、軍手などの手袋を着用してください。



白い部分が卵のう

○ 咬傷例について

ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあり、日本での咬傷例は主に6～10月に報告されています。

○ 咬まれたときの症状など

- ◆ 最初は咬まれた部位に軽い痛みを感じる程度ですが、その後徐々にじんじんとした痛みを感じたり、かゆみや腫れ、炎症や熱感などの症状があります。
- ◆ 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。
- ◆ 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます。
- ◆ 国内でもセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが重症化することもあります。咬まれた場合は、最寄りの医療機関にご相談ください。

○ ゴケグモを発見した場合

- ◆ ゴケグモを発見した場合は、素手で捕まえたり、触らないように注意のうえ、駆除していただくとともに、下記の関係機関までご連絡をお願いします。
- ◆ ゴケグモを駆除するには、家庭用殺虫剤を吹き付けるほか熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の方法により行ってください。
- ◆ 一匹見つければ周囲にも潜んでいる可能性があるため、よく確認するなど十分に注意してください。

○ ゴケグモを拡散しないために…

ゴケグモは生息している地域からの引っ越しや貨物に紛れて拡散することから、荷物や車に付着させないようにご注意ください。

○ 関係機関

- ◆ 最寄りの市町村
県の各広域本部林務課、阿蘇地域振興局林務課、球磨地域振興局森林保全課
- ◆ 熊本県環境生活部環境局自然保護課 (TEL: 096-333-2274)
- ◆ 環境省九州地方環境事務所野生生物課 (TEL: 096-214-0339)

製作：熊本県環境生活部環境局自然保護課